

# インドネシアの最終処分場(スラバヤ)



06年12月撮影

# スラバヤ市との協力



婦人たちの強い関心



- 約12,000世帯まで普及(07年6月末現在)
- 今後4年間で、20万世帯(全世帯の1/3)へ
- ・メダン、デンパサールなどで普及を計画
- ・遠隔セミナーでバンコクへ伝える(2005年)
- ・バンコクでの実験が始まる(2006年)



現地テキストと講習会



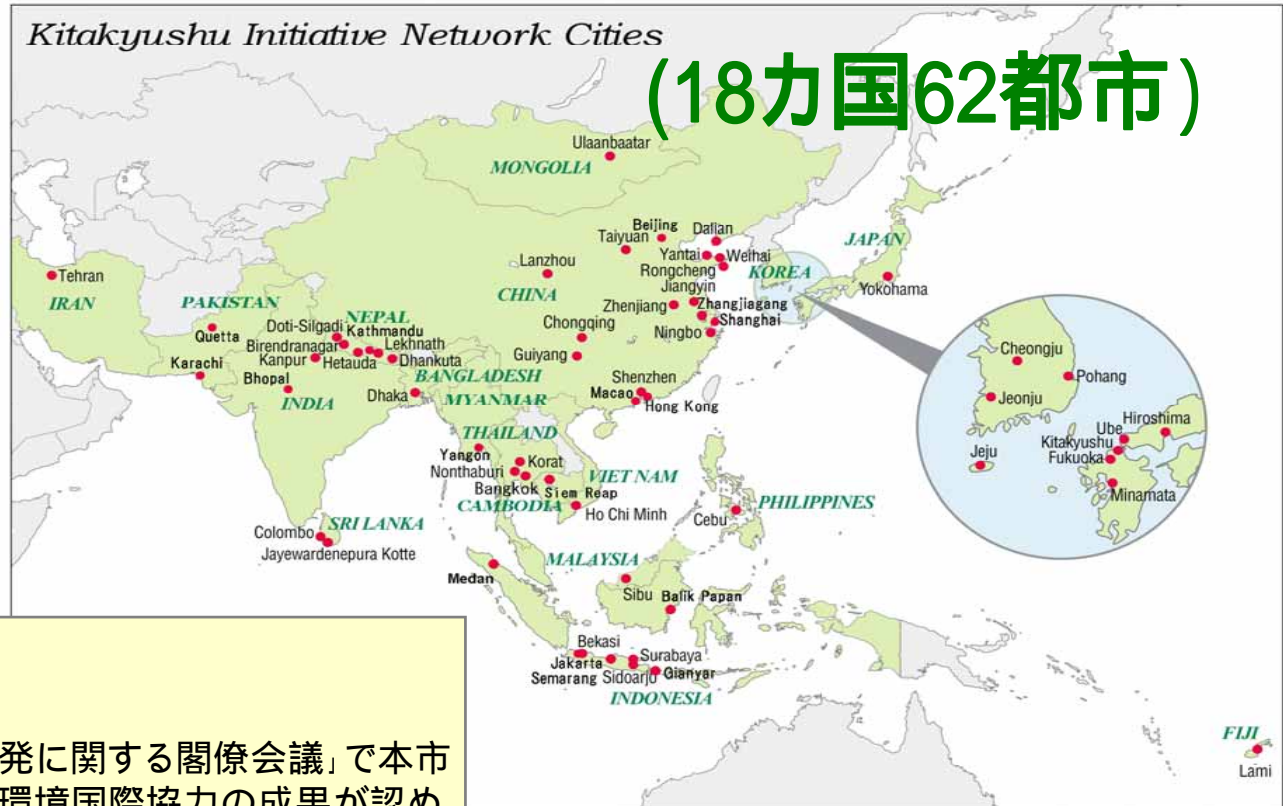
世銀、市政府によるセミナー



# 北九州イニシアティブ・ネットワーク



国連ESCAP環境と開発に関する閣僚会議(2000)



## 国連機関による都市ネットワーク経緯

2000年 第4回「国連ESCAP環境と開発に関する閣僚会議」で本市の環境改善とそれを生かした環境国際協力の成果が認められ「北九州イニシアティブ」が採択

2001年 北九州イニシアティブ・ネットワーク発足

活動内容 パイロットプロジェクト、テーマ別セミナー、ベストプラクティスの収集・分析など

活動領域 大気汚染、水質汚濁、廃棄物処理(3Rを含む)など

事務局 地球環境戦略研究機関(IGES)北九州事務所

事業 情報交換、パイロットプロジェクト、政策分析の支援

2005年開催の第5回「環境と開発に関する閣僚会議」で、その成果が認められ、5年間延長が決定

ごみ減量化32%達成  
(タイ・ノンタブリ市)



写真提供: ノンタブリ市

燃焼効率改善プロジェクト  
(モンゴル・ウランバルル)



写真提供: ESCAP

- 1 . 公害対策の経験
- 2 . 環境国際協力の歴史
- 3 . エコタウン事業とその発展
- 4 . 環境首都グランドデザイン
- 5 . 低炭素社会に向けた取り組み
- 6 . 環境人財育成
- 7 . アジアとのWIN-WIN関係へ

# 北九州市の環境産業振興の戦略

基礎研究から技術開発・実証研究・事業化に至るまでの総合的展開

## 教育・基礎研究

環境政策理念の確立  
基礎研究、人材育成  
産学連携拠点

## 技術・実証研究

実証研究支援  
地元企業のインキュベート

## 事業化

リサイクル事業、環境ビジネス展開  
中小、ベンチャー事業の支援

### 北九州学術研究都市

大学  
・北九州市立大学 国際環境工学部  
大学院国際環境工学研究科  
・九州工業大学  
大学院生命体工学研究科  
・早稲田大学  
大学院情報生産システム研究科  
・福岡大学大学院工学研究科

研究機関等  
・早稲田大学理工学総合研究センター  
九州研究所  
・福岡県リサイクル総合研究センター  
・FAISロボティクス研究所  
・英国クンフールド大学北九州研究所  
・JST さきがけ研究21ラボ  
・JST SORSTラボ ほか

### 実証研究エリア

福岡大学資源循環・  
環境制御システム研究所  
各分野での実証研究  
・処分場管理技術  
・焼却灰資源化技術  
・食品残渣(生ごみ・おから等)  
・汚染土壌浄化技術  
・福岡県リサイクル総合研究センター  
実証試験地  
・新日本製鐵(株)北九州環境技術  
センター  
エコタウンセンター  
(本館・別館・廃棄物研究施設)  
おから・食品残さリサイクル  
発泡スチロールリサイクル

### 総合環境コンビナート

リサイクル工場の集積  
・ペットボトル ・OA機器 ・自動車  
・家電 ・蛍光管 ・医療用具  
・建設廃棄物(2) ・複合中核 ・非鉄金属

### 響リサイクル団地

地元中小・ベンチャー  
(食用油、有機溶剤、古紙、空き缶)  
自動車解体、中古部品業者の高度化

### 響灘東部地区

リサイクル・リユース工場  
・パチンコ台 ・トナーカートリッジ  
・廃木材・廃プラ ・飲料容器  
風力発電(2)

### 洞海湾地区

リサイクル・リユース工場  
・フォーミング抑制剤 ・OA機器

# 北九州学術研究都市の空撮

